



Cafe & 炭火焼

なぎさ
GARDEN

Since 1967

現在は炭火焼コーナーのご利用のみできます。カフェと合わせて、本格的には2016年2月よりOPEN予定です！

能登半島の四季を眺める
海辺の GARDEN へようこそ

海鮮炭火焼と地元食材を
お楽しみください

-自然と地域の人々の営みが今も残る世界農業遺産の町-
穴水町

「なぎさGARDEN」は、

昭和42年、ここ穴水町の曾福で産声をあげました。

ドライブインとして、旅館として、そして、その思いは受け継がれ、能登の時代の流れとともに、今も多くの人との出会いを生み出しています。



国道沿いに立ち、仕事へ行く人 旅人のお腹を満たしてくれる場として

地域の方々や仕事へ行く人、観光客が集う場所として、当時はうどんやラーメン、定食を出して、人々の心とお腹を満たしてくれる場でした。その後は、周りにもドライブインが増え、ますます国道沿いは賑わいを見せていたそうです。

道の駅がない時代の、 国道沿いの憩いの場でした

時代は、昭和42年。この国道にはたくさんの方が行きかかっていました。その後の、今の能登の幹線道路ののと里山海道の建設の際には、作業をする方々の寝泊まりの場として、能登の時代の変遷とともに、多くの関わりと交流をしてきました。



働くところが、住むところ。 今も変わらない、地域に根付くこと

「渚ガーデン」は19年の歴史を経て、一度お店を閉じましたが、鮮魚店「渚水産」として転業し、その間も台風19号や能登沖地震など苦難を乗り越えて、33年。今もこの地に根を張っています。その土地で、商いをする事、人の雇用を生むことは、一番の地域貢献になると思っています。

そして、次のバトンへ。2015年「なぎさGARDEN」として、再び。 能登での出会いから広がる、新しい時代の流れが今始まります。

閉店後もパーベキュー小屋をゲストハウスとしてたくさん方をおもてなしを続けてきました。この場を、移住者がバトンを受け取り、県内外・海外からたくさんの方々を訪れる場所として、新しい時代の流れを作り出し、「なぎさGARDEN」として再び看板を掲げました。

能登に来た際には、ぜひお気軽にお立ち寄りください。